

News Release

2018年12月12日
株式会社日立物流

DMM.com、佐川急便との協業による3Dプリントサービスのお知らせ

株式会社日立物流（東京都中央区、代表執行役社長：中谷康夫、以下日立物流）は、合同会社DMM.com（東京都港区、最高経営責任者：片桐孝憲、以下DMM）が展開する3Dプリントサービス「DMM.make3Dプリントサービス」の生産拠点を、当社京浜物流センター（東京都大田区平和島）内に設置し、佐川急便株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：荒木秀夫、以下佐川急便）と共同で、2018年12月4日（火）よりサービス運用を開始しましたので、お知らせいたします。

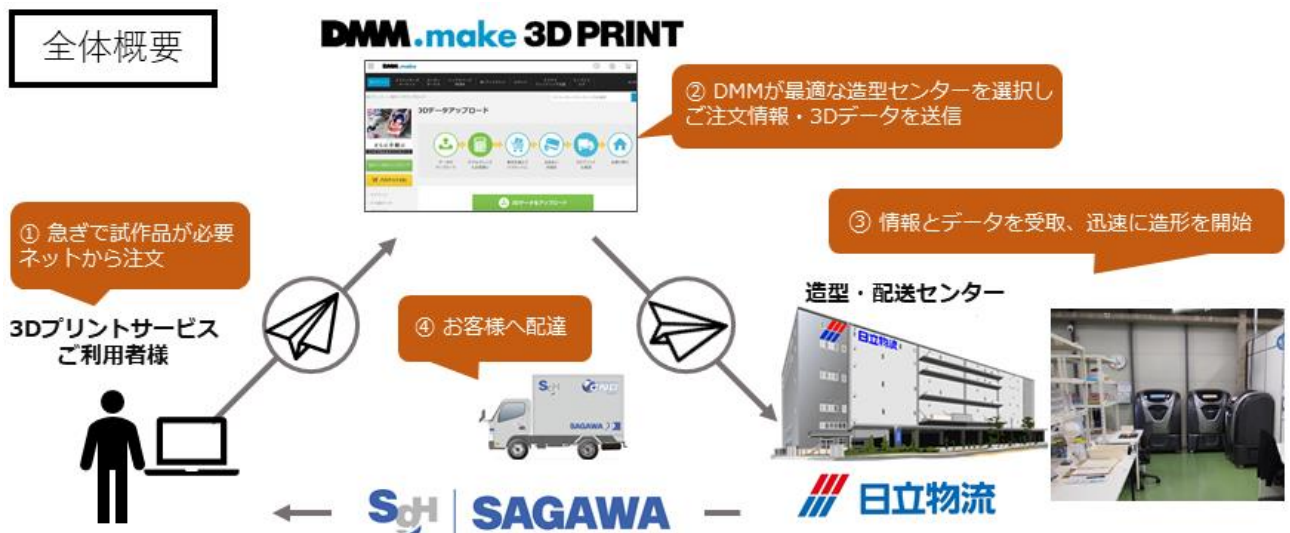
1. 背景と目的

当社はビジネスコンセプト LOGISTEED を掲げ、コアとなる3PL事業の徹底強化を図るとともに、事業・業界を超えた協創領域の拡大による新たなイノベーションの実現をめざしています。本取り組みは、当社拠点における情報通信機器ソリューション事業の実績と佐川急便のデリバリーを組み合わせることで、DMMの事業展開に貢献するものです。具体的には、DMMは当社物流センター内に生産拠点を置くことで、現在の1拠点体制から生産能力を強化することができ、また、当社と佐川急便の協創による配送ネットワークを活用することで、生産から納品に至る利便性の高いサービスの提供が可能になります。

2. 本取り組みについて

DMMが提供するDMM.make 3Dプリントサービスは、モノづくりに関係する「人」と「情報」と「ツール」が集まるmakerプラットフォームとして、現在主要な生産拠点を石川県加賀市に設置しています。

今般、DMM.makeが受注した製品情報をもとに、当社物流センター内に設置した3Dプリンターで生産した完成品を同一拠点で佐川急便に引き渡し、配送サービスを提供することで、従来は物理的な制約で対応が難しかった首都圏への短期納品を実現いたします。



(各社の主な役割)

- ・ DMM : 3D造形物管理（受注・生産・検収等）
- ・ 日立物流 : 造形物の出荷工程業務（仕分け・洗浄・仕上げ・梱包等）
- ・ 佐川急便 : 生産拠点からの配送サービスの提供

3. 今後の展開

DMM は、試験運用期間を経た後に、よりお客様のニーズにあったプリンター機種を導入を進め、当社物流センターでの生産設備の拡充に取り組むとともに、お客様の納品先にもっとも近い立地での生産に向けた拠点展開を検討しております。当社および佐川急便は、両社拠点ネットワークを活用することで、最適拠点における少ロット生産やさらなるリードタイムの短縮等、お客様のより高いニーズに応じたサービスを提供いたします。

また、将来的には、製造メーカーの保守部品等の 3D データ管理を行うことで、製造コスト低減や在庫削減による保管コスト低減等に貢献し、製造から納品にいたるジャストインタイムの構築をめざしてまいります。

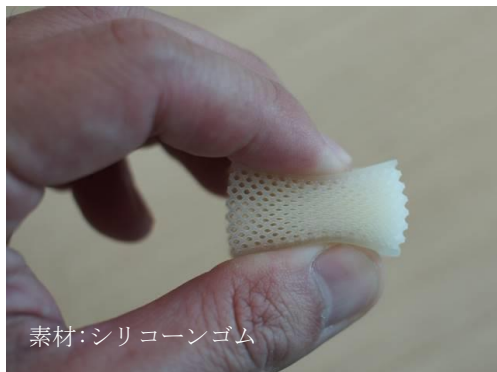
DMM. make3D プリントサービス とは

モノづくりのためのプラットフォームを運営し、産業用の 3D プリンターを複数導入しています。

個人でもお求めやすい価格で 1 点からの注文が可能となります。

本取り組みでは法人等からの需要が多い、プロトタイプや保守パーツの造形に適したプリンターを導入。複数の素材を用いることにより、ゴムのような柔らかい素材、硬い素材、耐熱性の高い素材を出力いたします。

3D プリンターによる造形物



以上

【お問い合わせ先】

〈担当窓口〉 株式会社日立物流 営業開発本部 営業企画部
〈本リリース内容〉 株式会社日立物流 経営戦略本部 広報部

TEL : 03-6263-2826

TEL : 03-6263-2803